

【復興交付金事業計画の個別事業の実績に関する評価様式】

<p>事業番号 ★F-2-1-1</p> <p>事業名 市街地復興効果促進事業</p> <p style="padding-left: 20px;">★D-23-2-1 市街地整備事業等に係る住民合意形成事業</p> <p style="padding-left: 20px;">★D-23-2-2 震災記録の収集・整理・活用事業 等</p>
<p>事業費 78,507 千円（国費：62,803 千円）</p> <p style="padding-left: 20px;">（内訳：業務委託料 78,507 千円）</p>
<p>事業期間 平成 27 年度～令和元年度</p>
<p>事業目的・事業地区</p> <p>★D-23-2-1 市街地整備事業等に係る住民合意形成事業</p> <p>富岡町災害復興計画(第二次)の基本理念を具現化するため、市街地の面的整備とあわせ、早期・将来的に帰還を目指す町民、更には帰還しない町民と町のつながりを維持・醸成するための具体的な・施策の構築を目指し、震災及び原発事故の教訓の分析や課題整理、富岡町災害復興計画(第二次)を軸とした総合的な施策の整理・点検など、復興拠点となる曲田地区を中心としたまちづくり及び町内帰還を促進するための「人と町とのつながり」アクションプラン（骨子）を作成することを目的とする。</p> <p>★D-23-2-2 震災記録の収集・整理・活用事業</p> <p>東日本大震災等による避難生活の経験や記憶から得られる教訓を生かした災害に強いまちづくりを進め、避難生活等に関する実態や、ふるさと富岡がどのような影響を受け、変化してきているかなど、地域が受けた経験を後世に伝えるため「震災記録誌」を作成する。これによって、災害研究等の基礎資料として役立てるほか、町民への配布をするなど、安全・安心を保てる復興拠点の整備を進め、震災の風化防止や町内生活環境の向上・充実、地域活性化と地域コミュニティの再構築を図り、帰還促進と町の復興につなげることを目的とする。</p>
<p>事業結果</p> <p>★D-23-2-1 市街地整備事業等に係る住民合意形成事業</p> <p>「人と町とのつながり」アクションプラン（骨子）作成にあたり、以下のとおり検討を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・策定プロジェクトチーム <ul style="list-style-type: none"> 開催：全 4 回 構成：町職員 <p>★D-23-2-2 震災記録の収集・整理・活用事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・富岡町「東日本大震災・原子力災害」の記憶と記録（2011. 3. 11-2014. 3. 31） ・富岡町「東日本大震災・原子力災害」の記憶と記録Ⅱ（2014. 4. 1 -2018. 3. 31）
<p>事業の実績に関する評価</p> <p>① 事業結果の活用状況に関する調査・分析・評価</p> <p>★D-23-2-1 市街地整備事業等に係る住民合意形成事業</p> <p>本事業において作成したアクションプラン（骨子）を基に、翌年度アクションプラ</p>

ンが策定され、骨子検討の際に検討した各種施策の事業化に繋がり、これらの施策の実施により令和2年9月1日現在の町内居住者が1,498人まで増加することに繋がった。

★D-23-2-2 震災記録の収集・整理・活用事業

本事業において作成した「震災記録誌」により、東日本大震災及び原子力災害によって、何が起き、どう動き、そこで何を感じたのか、ということ記録に残し、これらの経験を風化させることなく後世に伝える資料として整理された。この内容を踏まえて災害に備えた町づくりがどうあるべきかの検討、さらには、町ホームページや町内視察者への情報発信ツールとして活用され、様々な自治体や団体等の災害対策に係る教訓として活かされている。

② コストに関する調査・分析・評価

★D-23-2-1 市街地整備事業等に係る住民合意形成事業

指名競争入札を前提とした受託可能性調査の結果を踏まえて随意契約により業務委託契約を締結しているが、設計段階において複数事業者から参考見積を徴取することで市場価格を十分に精査しており、当該事業費は妥当な規模であると考え

★D-23-2-2 震災記録の収集・整理・活用事業

プロポーザル方式によって優れた企画提案を行った業者と業務委託契約を締結しており、適切なものとする。

③ 事業手法に関する調査・分析・評価

★D-23-2-1 市街地整備事業等に係る住民合意形成事業

約2ヶ月半の限られた事業期間の中でも、4回にわたるプロジェクトチームにおける政策検討等を行い、次年度のアクションプラン策定に向けた骨子を取りまとめており、事業手法は適切であったと考える。

★D-23-2-2 震災記録の収集・整理・活用事業

約9ヶ月の事業期間において、レイアウト編集、印刷・製本を行うだけでなく、全国各地にいる町民や関係者に対する取材等を多数行っており、事業手法は適切であったと考える。

事業担当部局

富岡町 企画課 電話番号：0240-22-9010